サイバー犯罪捜査に対するIT技術者からの要望

- 昨年の遠隔操作事件における誤認逮捕の発覚、³ 3年前の岡崎市立中央図書館事件の顛末、これらを経験して、私たちIT技術者は、捜査機関のサイバー犯罪捜査に対して、少なからずその信用性を疑う目を持つたのではないかと思います。この講演では、これらの事件を振り返り、サイバー犯罪捜査におけるIT業界の相場感覚の重要性について改めて指摘したいと思います。加えて、一昨年施行された改正刑法の不正指令電磁的記録に関する罪について、その罪とすべき範囲の曖昧さ、限界事例について考察し、IT技術者の立場から、この罪の適用の運用について捜査機関に望むことを私見として述べます。

高木浩光